

2023 年 12 月 18 日

## 2023 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 ノースガイア

ホーム名 ノースガイア

代表者・役職名 氏名 ホーム長 池田 律子

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 申請事業の名称

学習ルームの環境整備

## 2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

個別学習塾から、勉強だけでなく、若者に対してモラルの育成や生活・就労支援ができないかと考え、NPO 法人を立ち上げ、平成 30 年 8 月に事業を開始。支援者自身が多く経験を重ね、異なった角度からサポートできている。昨年、ホームのこどもが出演した『旅のはじまり』というヒューマンドキュメンタリー映画が公開。今年 6 月に女子 6 名の受け入れを開始、定員が 12 名になった。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

入所しているこどものほとんどが高校(全日制や通信制)に通っている。居室にも学習機があるが、なかなか集中できないと、学習ルームを利用していることが多い。また共用のパソコンが学習ルームにあり、コロナ禍でオンライン授業などを受講することが増えた。しかし、パソコンを設置する独立した機がないため、パソコンの使用の度に移動しなければならなくなっている。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

学習ルーム①では、最大数 12 名が 1 度に学習ルームに入っても、利用できるようにしていく。学習したいこども向けの机、パソコンを使用したいこどもにはパソコン専用のデスクを用意。いすは長時間座っても疲れにくいもの、そして高さを変更できるものを選択。学習ルーム②のレイアウトの変更から、折りたたみではなく長机を検討した

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

通信制に通うこどもは多くの時間、学習ルーム①で勉強している。整備されることで、パソコンの移動やコンセントが邪魔になることなく、集中できている。全日制に通う子も在籍するようになり、普段自室で勉強していた子も学習ルームで勉強することになった。学習ルーム②では大画面モニターがあることから、ミーティングや講義、映画鑑賞会など交流の場にもなっている。

会話をかわすけではないが、安心感がある様子が見うけられる

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

当初の予定より実施が遅れてしまった。その理由として、学習ルームの改装が遅れたことが原因であった。そのため、申請したものが売り切れになっていたり、価格が高騰し店舗を変更しなければならない状態になってしまった。到着した商品は自分たちで組み立てたことで、より大事にしようと思う気持ちが強くなっていて、初めて工具を使った子もいて、楽しそうだった。代表理事が先頭にたちレイアウトを指示し、こどもたちとの交流もできたと感じている。より集中した学習ルームになるように、勉強に適したライトに変更するようしていく予定

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

